

7-2 岐阜県東部の活断層周辺における地殻活動観測結果 (2015年5月～2015年10月)

Observation of Tectonic Activities around the Active Faults in Eastern Gifu Region (May, 2015～October, 2015)

産業技術総合研究所
Geological Survey of Japan, AIST

1. 観測概要

産業技術総合研究所は跡津川断層沿いの宮川・跡津川において地殻活動総合観測設備を設置している(第1図)。宮川は深度約300mの坑井を掘削し、坑底に3成分ひずみ計・高感度地震計(1Hz, 3成分速度計)を設置。深度256.78～267.66mの滞水層での地下水位と体積温度計の計測も行なっている。跡津川は坑道内に深度約50mの坑井を掘削し、坑底に3成分ひずみ計を設置。地下水位と体積温度計の計測も行っている。

2. 観測結果概要

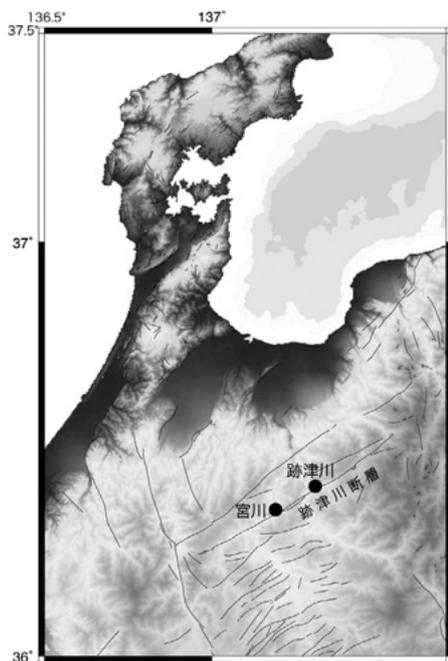
宮川(第2図) : 水位, 歪計は潮汐変化を書く。降雨の影響が大きい。

本期間内に発生した2015年5月5日パプアニューギニアの地震 Mw7.5, 5月30日小笠原諸島西方沖の地震 Mw7.9 及び9月17日チリ中部沖の地震 Mw8.3 では, 歪計のステップ及び地下水位の変化は見られない。

跡津川(第3図) : 水位, 歪計は潮汐変化を書く。降雨の影響が小さい。2002年4月初旬から数カ月周期の温度, 歪の不安定な変動が続いている。

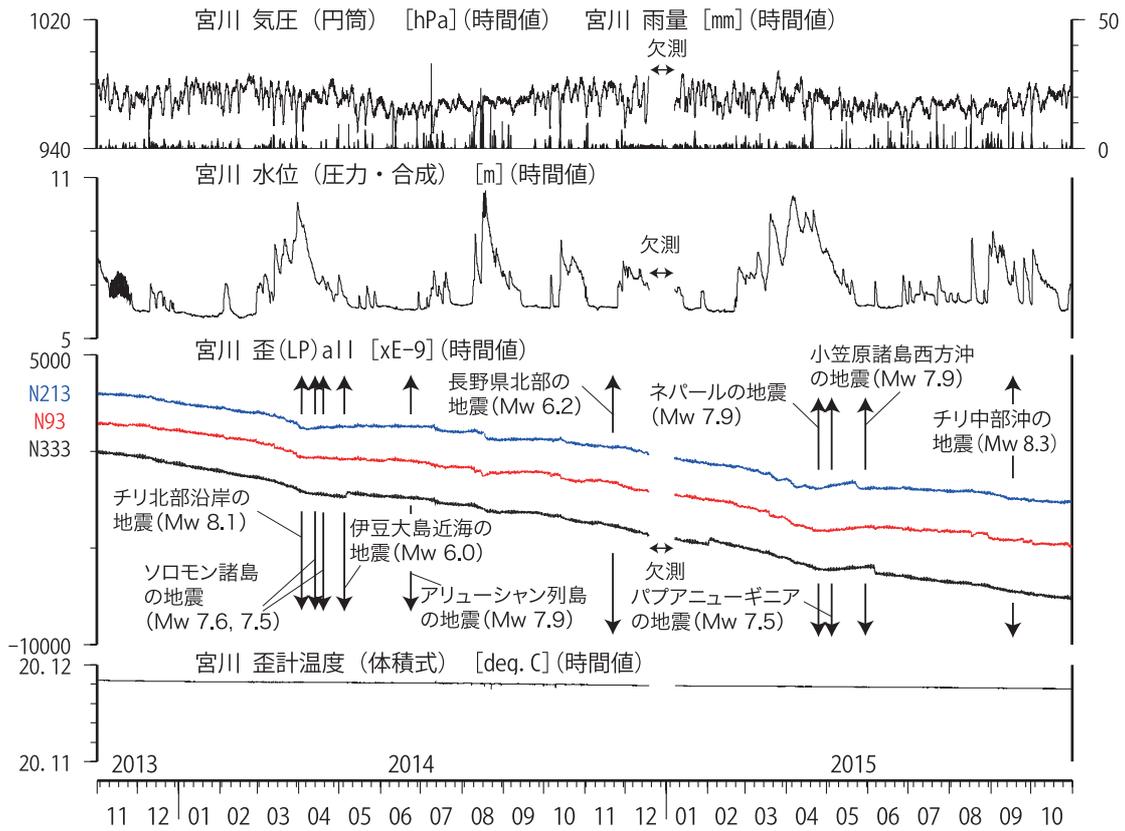
本期間内に発生したパプアニューギニアの地震 Mw7.5, 小笠原諸島西方沖の地震 Mw7.9 及びチリ中部沖の地震 Mw8.3 では, 歪計のステップ及び地下水位の変化は見られない。

(木口努・今西和俊・松本則夫)

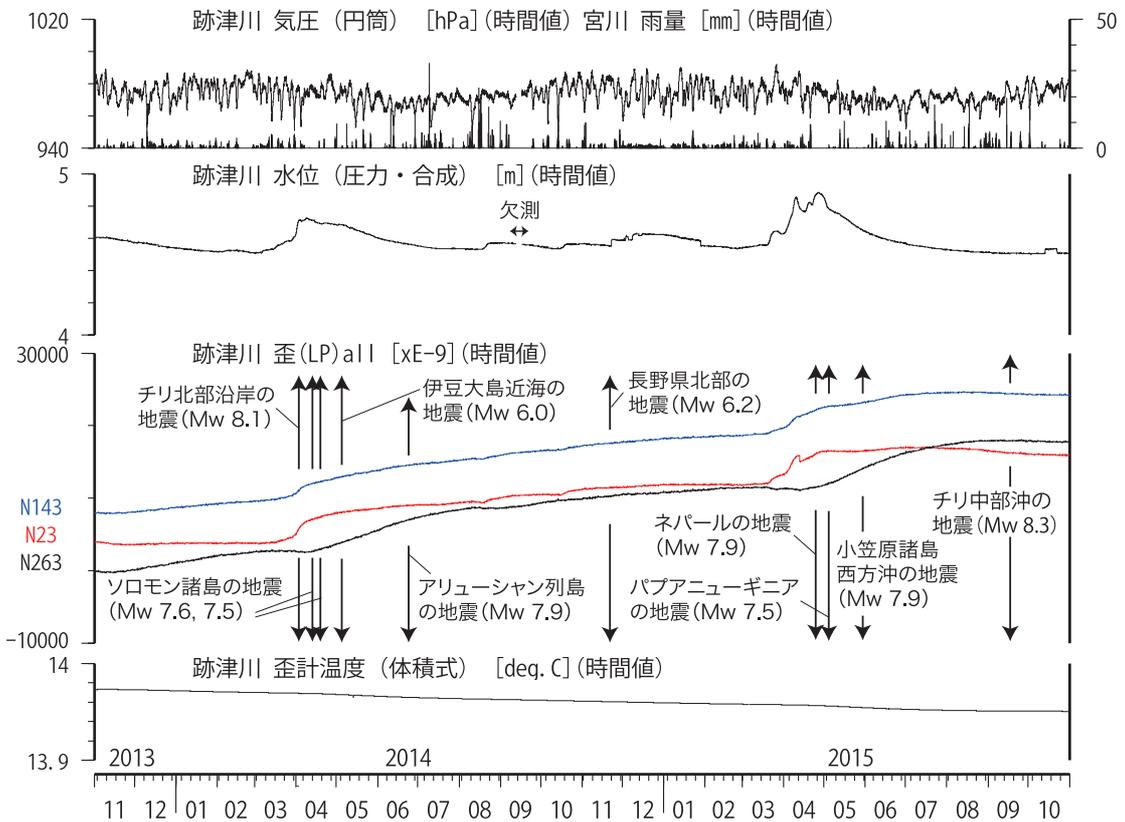


第1図 跡津川断層沿いの宮川・跡津川における地殻活動総合観測点位置

Fig.1 Location map of the observation boreholes at Miyagawa and Atotsugawa along the Atotsugawa fault.



第2図 宮川における歪観測結果（2年間）
 Fig. 2 Results of strain meters at Miyagawa (for 2 years).



第3図 跡津川における歪観測結果（2年間）
 Fig.3 Results of strain meters at Atotsugawa (for 2 years).